

第4回 (仮称)「道の駅かみのかわ」基本構想・基本計画策定懇談会
議事要旨

【開催日時】 令和6年9月30日(月) 13:30~15:00

【開催場所】 上三川町役場 3階 会議室

【出席者】

(1) (仮称)「道の駅かみのかわ」基本構想・基本計画策定懇談会 参加者

上三川町議会 議員

議会議長	稲川 洋
議会副議長	小川 公威
議会総務文教常任委員長	田崎 幸夫
議会産業厚生常任委員長	志鳥 勝則
学識経験者	宇都宮大学准教授 長田 哲平
商工会 代表者	会長 鶴見 秀昭
観光協会 代表者	理事 猪瀬 敬
宇都宮農業協同組合 代表者	代表理事常務 見形 繁
自治会長連絡協議会 代表者	副会長 飯田 清
女性団体連絡協議会 代表者	会長 鈴木 美恵子
認定農業者協議会 代表者	副会長 古口 雄一
日産自動車栃木工場	人事総務部長 山本 裕美
一般公募	塩谷 二郎
一般公募	花井 沙野佳
一般公募	佐藤 広子

(2) (仮称)「道の駅かみのかわ」基本構想・基本計画策定懇談会 オブザーバー

国土交通省 宇都宮国道事務所

計画課長 鶴巻 尚

栃木県

県土整備部 道路保全課 課長補佐(総括) 鈴木 倫久

(代理) 計画保全担当 主査 清水 智

宇都宮土木事務所 次長 牛久 益雄

(代理) 企画調査部 企画調査課

部長補佐(総括)兼課長 神山 雅行

栃木県河内農業振興事務所 次長兼企画振興部長 上野 臣一

宇都宮市

建設部 技術監理課 課長 桑久保 佳宏

道路建設課 課長 鎌田 淳

(3) (仮称)「道の駅かみのかわ」基本構想・基本計画策定懇談会 事務局

上三川町

商工課 課長

保坂 武志

商工課 課長補佐

枝 博信

商工課 道の駅整備係長

長井 建治

商工課 道の駅整備係 主査

林 光大

三井共同建設コンサルタント株式会社

高橋 恵一

三井共同建設コンサルタント株式会社

岡部 義諒

三井共同建設コンサルタント株式会社

日沼 千紀野

【議事】

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 議事

(1)第3回策定懇談会の議事録（公表用）案について

(2)整備・管理運営について

・今まで上三川町内で PFI の実績はあるのか。また、今回の道の駅事業では民間事業者の応募の見込みはあるのか。

→ PFI の実績について、本町ではまだない。栃木県内では 10 件（うち国事業 1 件）、全国では 1,000 件程度実績がある。また、民間事業者の応募の見込みについては、事前に民間事業者との対話を実施して、確認を行う。（事務局）

・民間事業者が本事業に参入することで、集客や収益性に重点を置かれ、上三川町らしさが損なわれるのではないか。

→ 民間事業者だからこそ実施可能な取組、アイデアがあると考えている。また、採算性のみを重視した事業にならないよう、要求水準書で公益性を確保する要件を設定することで、公共性や町の方針継承を担保することを想定している。ただし、厳しい要件を設定することにより、民間の取組の自由度が低下する懸念があるため、十分留意する。（事務局）

・本道の駅事業にあたっては、PFI 手法を導入するという認識でよいか。

→ PFI 等の官民連携も視野に入れ検討を進めたいと考えている。民間事業者へのヒアリング結果として、PFI 事業導入の見込みがあると考えているが、再度民間事業者との話し合いの場を設け、検討を重ねていく必要がある。（事務局）

・従来の公共事業、指定管理者制度、PFI 事業では、道の駅の供用開始時期に差異はあるのか。

→ PFI 事業については、民間事業者の選定期間を要するため、従来の公共事業に比べ、1 年程度供用開始が遅くなる可能性がある。（事務局）

・道の駅の公共性の役割を持つ機能は、懇談会の中で決めるのか。
→ 懇談会の中で確定する想定はしていないが、導入機能・施設の必要性の強弱は、懇談会の中で出たご意見を参考にさせていただく。(事務局)

・三井共同建設コンサルタント株式会社が道の駅の検討に参画しているということは、PFI事業の参加事業者としての関連性があるということか。
→ 三井共同建設コンサルタント株式会社は(仮称)「道の駅かみのかわ」の基本構想・基本計画策定業務の委託事業者であり、整備・管理運営を行う民間事業者ではない。(事務局)

(3)導入施設と施設規模について

・上三川町の道の駅でしか体験できないような施設を整備してほしい。例えば、日本一難しいクライミング施設やスケートボード場などは魅力があるのではないか。

・地域デザインセンターについて、道の駅内に学生の研究拠点などが整備されるのは違和感がある。また、導入施設を絞る検討を行った方が良いのではないか。
→地域デザインセンターのあり方を明確にする。(事務局)

・おさかな市場について、上三川町の道の駅として、海産物の販売を行うことは望ましくないのではないか。お土産に海産物を購入することは想定できない。
→ 海無し県だからこそ、海産物のおさかな市場を整備することで、県内の近隣道の駅との差別化を図ることができると考えている。ターゲットについて、観光者ではなく、近隣在住者を想定している。近年オープンした道の駅前橋でも海産物を扱うことで集客を得ており、商品はすぐに売り切れになる。北関東自動車道を活かし大洗町などの海産物を取り扱うこと想定している。(事務局)

・大型遊具について、現時点での面積が350㎡となっているが、中途半端な大きさに感じる。道の駅もてぎや道の駅川場田園プラザのような大きな敷地面積を整備することで、より多くの集客が見込めると考える。道の駅もてぎの遊具は親子が行列を作っている。

・大型遊具は屋内、屋外のどちらを想定しているか。
→ 現時点では屋外を想定している。(事務局)
→ ORIGAMI プラザにある屋内遊具が人気なことから、屋内にも遊具を整備することも、夏の暑さを考えるとよいのではないか。また、屋外に整備する場合は屋根を設置すると天候に左右されにくい。

・RV パークについて、一度に利用可能な台数やワット数はどれくらいを想定しているか。
→ RV パークの詳細は今後検討することとする。(事務局)

・農産物直売所について、地域の農産物を常時販売できるような体制をつくることのできるのか。地元農家との協力体制を整えることや農産物の加工品の開発など、供給体制を整えていただきたい。
→ 道の駅どまんなかたぬまのように道の駅に農園を整備することも考えられるのではないか。
→ 販売体制などを含め今後検討していく事項と考えている。(事務局)

・日産名車展示について、本当に集客が見込めるのか。
→ 日産名車展示に興味を抱いている年齢層も多いと考えている。展示方法等は今後の検討とする。(事務局)

・コンテナハウスにおけるチャレンジショップとはどのようなイメージを想定しているか。
→ コンテナハウス内にキッチン等を導入した飲食店の形態を想定している。また、災害時には炊き出しなどにも利用することを想定している。(事務局)
→ 新規事業者が店舗運営を開始する前段階としての利用は想定しないのか。
→ 新規創業者などの出店の難易度を下げることにも想定している。(事務局)

・空飛ぶ車の発着場はどのようなイメージか。
→ 将来的に空飛ぶ車が実用化された場合の利用を考えているが、当面はスペースを設

けるだけで、広場と一体的に活用するイメージである。(事務局)

(4)導入施設から想定される利用シーンについて

- ・導入施設から想定される利用シーンはアンケート調査を実施したのか。
- アンケート調査は実施していない。(事務局)
- アンケート調査を実施していない場合、事務局の恣意的な思考が感じられる。懇談会で出た意見を反映してほしい。

(5)管理運営者の変更事例について

- ・道の駅経営が上手くいかず、赤字を上三川町が補填するような形は望ましくない。道の駅経営における赤字補填を自治体が実施する事例はあるか。
- 管理運営形態によるが、公共施設であるため、自治体は少なからず、金銭的負担が求められる。そのうちの一種が管理費等を自治体が負担する指定管理料である。全国の道の駅事例を見ても、指定管理者制度を活用している道の駅において、指定管理料を支払っていない事例は稀である。(三井共同)

4. その他

- ・ 第5回懇談会は11月20日を予定している。

5. 閉会

以上